

JICAの支援

トルコ	円借款 450億円	難民受入れ地方自治体（南東地域）の上下水道・廃棄物管理に係るインフラ整備
ヨルダン	円借款 360億円 無償 25.1億円 技協 7.34億円 緊急援助 0.13億円	財政負担軽減のための財政支援 難民を多く受け入れる地域の上水道改善 上下水道計画策定・小規模修繕活動、保健・教育資機材供与、難民障害者への支援、村落保健 難民キャンプの洪水被害対策
レバノン	技協（準備中）	難民受入れ公立学校への支援、難民受入れ地域コミュニティの対応強化支援、中小企業支援、上水道改善（実施済み）
ヨルダン レバノン	技協（検討中）	シリア難民の留学生受入事業

シリア難民支援ボランティア事業 (青年海外協力隊 短期・1年長期派遣)

2012年に設置されたザアタリ難民キャンプ
(最大時約20万人が生活)において国際NGOが
運営する児童・青少年施設に青少年活動の青
年海外協力隊員(14名)を派遣し約30か所の
施設を巡回しながら音楽、体育、図工等のア
クティビティを厳しい環境下のシリア難民の
子どもたちに提供。主に短期隊員は、過去シ
リアで協力隊員として派遣された隊員が再応
募してキャンプに派遣。

ボランティア派遣数：14名



北部地域シリア難民受入コミュニティ水セクター緊急改善計画

協力期間：2014年3月～2018年3月

支援概要：北部地域のイルビッド県において、新たな水源の接続計画に合わせ、配水管新設・更新を行い、給水サービスの改善（給水時間週1日→2日）及び住民の生活改善を図るもの（裨益人口47.3万人）。



1. シリア難民の現状

- ✓ シリア難民数：105万人(2016年UNHCR)
- ✓ レバノンの人口は約455万人（2014年世銀）
- ✓ レバノン国内に難民キャンプはなく、すべての難民がホストコミュニティに在住。
- ✓ 2014年5月以降、大統領選出に36回失敗する（未だ空席）など、シリア内戦の影響を受けて行政機構は一層脆弱化。
- ✓ 高中所得国のレバノンにおいても社会サービスの提供等、レバノン政府に重い財政負担。

2. シリア難民・ホストコミュニティ支援

(1) 全体方針

高中所得国であっても山積するニーズに対し、他ドナー・国際機関と協力して効果的な難民支援を実施。

(2) 具体的支援内容

- ✓ 2014年4月以降、シリア難民を多数受け入れているホストコミュニティに対し、浄水場のポンプ交換を実施。更に教育・産業振興などの分野での支援事業を検討・実施中。

概要:

シリア難民を中心として、行政が提供する社会福祉サービスを必要としている住民に対してニーズを調査するとともに、パイロットプロジェクトを実施する。調査対象地は、首都アンカラ、イスタンブール及び南東部のシャンルウルファ。

背景:

- 国外避難のシリア難民485万人の内、275万人がトルコに流入。
- シリア危機から5年が経ち、シリア難民のトルコ滞在の長期化に伴い、トルコ政府は人道支援のステージから開発課題ととらえて対応。
- 家族・社会政策省は、キャンプ外在住のシリア難民への支援を目的としたコミュニティセンターを開設。JICAに対し、センター運営に関する技術協力支援の打診。

実施機関:

トルコ家族・社会政策省 (Ministry of Family and Social Policy)



シリア難民受入自治体上位5位

地域	2016年2月時点
シャンルウルファ	386,179 人
ハタイ	380,340 人
イスタンブール	370,450 人
ガジアンテップ	325,207 人
アダナ	140,852 人

JICAの支援

トルコ	円借款 450億円	難民受入れ地方自治体（南東地域）の上下水道・廃棄物管理に係るインフラ整備
ヨルダン	円借款 360億円 無償 25.1億円 技協 7.34億円 緊急援助 0.13億円	財政負担軽減のための財政支援 難民を多く受け入れる地域の上水道改善 上下水道計画策定・小規模修繕活動、保健・教育資機材供与、難民障害者への支援、村落保健 難民キャンプの洪水被害対策
レバノン	技協（準備中）	難民受入れ公立学校への支援、難民受入れ地域コミュニティの対応強化支援、中小企業支援、上水道改善（実施済み）
ヨルダン レバノン	技協（検討中）	シリア難民の留学生受入事業

人道支援と開発支援について